

令和8(2026)年度

「運営に関する計画」

(年度当初)

大阪市立栄小学校

令和8(2026)年4月～令和9(2027)年3月

I 学校運営の中期目標

現状と課題

教育目標を「自他を大切にし、夢と希望の実現に向かって粘り強く取り組む子どもを育てる」と掲げ、これまで人権教育を基底として取組を推進してきた。その結果、児童には「自尊感情の高まり」「他者理解の高まり」などの心が育まれてきた。これは、先達が築き上げた歴史と伝統を脈々と受け継いできた成果である。他校にはない本校の「強み」であり、さらに根幹となっていくものである。開校以来、150年以上の歩みの中で、地域や保護者の方々の温かい支えに感謝しながら、人権・自治・自立をキーワードに栄小学校への愛着や所属感、自己のアイデンティティを大切にした教育を推進してきた。

人権教育に関しては、「一人ひとりを大切にした教育」を推進し、命を大切にし、いじめのない安全・安心な学校をめざしている。特に朝の集団登校・あいさつの習慣に関しては、地域の見守り隊の方々、PTAの協力を得ることで、地域と一体となって取り組むことができている。毎朝、子どもたちの登校の様子を見守っているが、「集団登校ができていない」「朝ご飯を食べていない」とアンケートで答える児童も、10%以上に上っている。「浪速地域ネットワーク事務所」等関係諸機関との連携を密に図り、情報を共有することで、全児童を取り残すことのないようにしている。また教職員の人権研修についても計画的に実施し、校内外の研修、新転任者への研修等、浪速人権・同和教育推進協議会との連携を図りながら、教職員それぞれの人権感覚を磨き高めるようにしている。本校の実績として、令和3年度から学校で認知したいじめの解消率を100%にし続けることができていく。今後も学校・地域・保護者が一体となって、児童の豊かな心の育成に努め、安全・安心な教育を推進していく。

多文化共生教育にも重点を置く必要がある。外国につながる児童・保護者の割合は4割近くに達し、その国籍も様々である。家庭内の言語が日本語と異なるケースもあり、児童の言語環境を捉えたきめ細やかな配慮が欠かせない。学校の様子や連絡、お知らせをやさしい日本語で発信したり、配布物に多言語化処理を施したりしながら、多文化・多文化性に適応できるようにしている。学習上・生活上配慮を要する児童や家庭も多く、児童の実態や様子を共有する場を設け、児童・保護者に寄り添った対応ができるよう、全教職員で共通理解を図っている。

「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育については、一人ひとりの児童の状況に応じて合理的配慮を進め、日々取り組んでいる。個別の支援計画は、学期末に全教職員で内容を把握し、環境の整備や効果的な働きかけができるように共有し、障がいのあるなしに関わらず、「一人ひとりの児童がつながる」教育をめざしている。令和7年度の児童アンケート「人にはそれぞれ違いがあっていいと思う」と肯定的に答えた児童は99%に達した。今後もすべての児童が互いを認め合い、生き生きと活動することができる教育環境を生み出していくようにする。

学力については、令和7年度の大阪市小学校学力経年調査において、3年生～6年生の国語・社会・理科の平均正答率が大阪市の平均正答率より低い結果となった。特に、「基礎」領域の正答率よりも、「活用」領域の正答率が低い傾向にある。一方で、同調査の4年生・6年生の算数の平均正答率は、大阪市平均を上回るという結果を得た。これは、積み重ねてきた学力向上の取組が、成果として現れた結果であると考え。今後も取組を推進し続けるために「ザクザクタイム」「少人数学習・教科担任制」「放課後学習の機会の確保」等、実態に応じた工夫を行い、学習習慣を確立していくことをめざす。

読書習慣については、令和7年度アンケート「本をよく読むようにしている」と肯定的に答えた児童は60.9%であり、過去の調査と経年比較をしても、その割合が伸びておらず、本校の課題の一つである。浪速図書館と連携して学級文庫を充実したり、ボランティアによる朝読書の活動、雨の日や放課後に読書に親しめるミニミニ図書館を整備したりしながら、読書の啓発に向けて工夫している。朝読書の時間に教職員も一緒に読書を行い、児童と読書活動が共にできるように、読書習慣の確立に向けた取組をいっそう推進する。

体力・健康面においては、令和7年度の本校独自の児童アンケートで「体を動かすことが楽しく、すすんで運動している」に肯定的に答えた児童は90.1%であり、体を動かす意欲は高いと考える。今後も多様な遊びを各学年で取り入れ、それらが実践できる環境整備を進めながら、さらに体力向上の機会を確保する。歯みがきの習慣については、令和7年度から導入した歯磨きタイムの取組が定着し、「食後の歯磨きをきちんとしている」と肯定的に答える児童の割合が大幅に増えた。今後もそうじ後の休み時間を活用し、歯ブラシの管理を徹底しながら、より一層歯みがきの習慣化を進めていく。

学力・体力の向上と同時に、教育環境の充実も図っていく。1人1台端末を全児童が適切に扱うことができるようにするために、コンテンツの活用を図る。児童自身が、学習内容に応じてデジタル教科書やデジタルドリルを進めていくことができるように、環境を整備する。

教職員の働き方改革については、業務や会議を精選することにより、教員が児童と関わる時間を確保したり、教材研究の時間を保障したりしている。昨年度まで、時間外勤務時間数は少しずつ減少している。定時退勤とするゆとりの日を増やし、ワークライフバランスを考慮し、誰もが働きやすい職場環境となるように取組を推進していく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ② 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 令和 11 年度の小学校学力経年調査における算数の標準化得点を、いずれの学年も 100 以上にする。
- ② 令和 11 年度の小学校学力経年調査における、「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ③ 今年度末の本校児童アンケートにおいて、次の項目について「よくあてはまる・だいたいあてはまる」と答える児童の割合を合わせて
 - (a) 「給食後の歯みがきをきちんとしている」において、90%以上にする。
 - (b) 「体を動かすことが楽しく、すすんで運動している」において、90%以上にする。
 - (c) 「給食で苦手なものでもがんばって食べるようにしている」において、90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ② 教員の働き方改革に関して、時間外勤務時間について、月 60 時間以上実施する教員をゼロにする。
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ② 小学校学力経年調査における、「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ③ 今年度末の本校児童アンケートにおいて、次の項目について「よくあてはまる・だいたいあてはまる」と答える児童の割合を合わせて
 - (a) 「給食後の歯みがきをきちんとしている」において、80%以上にする。
 - (b) 「体を動かすことが楽しく、すすんで運動している」において、80%以上にする。
 - (c) 「給食で苦手なものでもがんばって食べるようにしている」において、80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。
- ② 教員の働き方改革に関して、時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

大阪市立栄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>② 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 】</p> <p>児童が安全に集団登校できるように指導する。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地区別児童会」を各学期に1回実施する。 ・全校児童が集まる場で、集団登校について振り返る時間を毎月1回設定する。 ・集団登校の実施状況を教員で共有できる場を毎月1回設定する。 	
<p>取組内容②【 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 】</p> <p>児童が互いに声をかけ合い、学校の仲間として認め合えるように、たてわり活動や異学年交流を活性化させる。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわり活動を毎月1回、異学年交流を各学年で年1回実施する。 	
<p>取組内容③【 基本的な方向2 豊かな心の育成 】</p> <p>人権教育をSDGsの視点と関連付けながら、児童の自尊感情を高めるための取り組みを行う。また、必要に応じて地域の施設を活用したり、人材を招いたりする。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設を利用したり人材を招いたりする活動を各学年で年1回実施する。 ・学習したことを学校全体に広める取組を各学年で年1回実施する。 ・全学年、年間1回以上いいところみつけを計画的に行う。 	
<p>取組内容④【 基本的な方向2 豊かな心の育成 】</p> <p>児童がすすんであいさつができるように指導する。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ運動」を各学期1回実施する。 ・水曜日に「あいさつの日」を設定する。 	

大阪市立栄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>② 小学校学力経年調査における、「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>③ 今年度末の本校児童アンケートにおいて、次の項目について「よくあてはまる・だいたいあてはまる」と答える児童の割合を合わせて</p> <p>(a) 「給食後の歯みがきをきちんとしている」において、80%以上にする。</p> <p>(b) 「体を動かすことが楽しく、すすんで運動している」において、80%以上にする。</p> <p>(c) 「給食で苦手なものでもがんばって食べるようにしている」において、80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上 】 研修の充実と授業研究の実践により、教員の指導力向上を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が様々な授業形態の工夫に取り組みながら、年1回以上の校内公開授業を行う。研究授業の際には指導案検討会と討議会を実施する。 	
<p>取組内容②【 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上 】 学習意欲の向上をはかる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年末に行う学校アンケートの「進んで学習することができている。」の項目において、「よくあてはまる・だいたいあてはまる」と回答する児童の割合を9割以上を継続する。 	
<p>取組内容③【 基本的な方向5 健やかな体の育成 】 歯みがきの習慣化に向けて、日々の指導と家庭への啓発を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食後の歯みがきタイムを全校で5分間実施する。また、丁寧に歯を磨けている児童を見つけ「歯の日」に合わせて発表する。 ・6月、11月に「歯みがき強調週間」を設定し実施する。それにともない、歯の大切や正しい歯の磨き方について保健教育を実施する。 ・夏季休業前、冬季休業前に、歯みがきカレンダーを各1回発行する。 	
<p>取組内容④【 基本的な方向5 健やかな体の育成 】 体力向上のために、運動する機会を増やす。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけあし月間やなわとび月間を年1回設定し、体育の学習を中心に運動する児童を増やす。 ・運動や体を動かす遊びのための環境を整える。 	
<p>取組内容⑤【 基本的な方向5 健やかな体の育成 】 食の大切さを指導するとともに、家庭への啓発を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で「食」に関する学習を年1回以上実施する。 ・給食だよりを毎月1回発行する。 	

大阪市立栄小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。</p> <p>② 教員の働き方改革に関して、時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【 基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 】</p> <p>児童が日常的にICTを活用する場面をつくる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の8割以上に、学習者用端末を日常的に活用させる。 	
<p>取組内容②【 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 】</p> <p>業務内容の精選を図り、教員一人当たり平均時間外勤務時間を減らす。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会を年1回実施し、学校行事の精選や見直しを行う。 ・ゆとりの日を2週間に1回程度設定する。 	
<p>取組内容③【 基本的な方向8 生涯学習の支援 】</p> <p>読書タイムの活用、図書室の効果的な利用、学級文庫の充実、読み聞かせの取組を行い、読書習慣の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書タイムを週2回以上実施する。 ・地域ボランティアと連携して読み聞かせを月1回実施する。 	